

児童虐待、家庭内暴力に気づいてつなげる

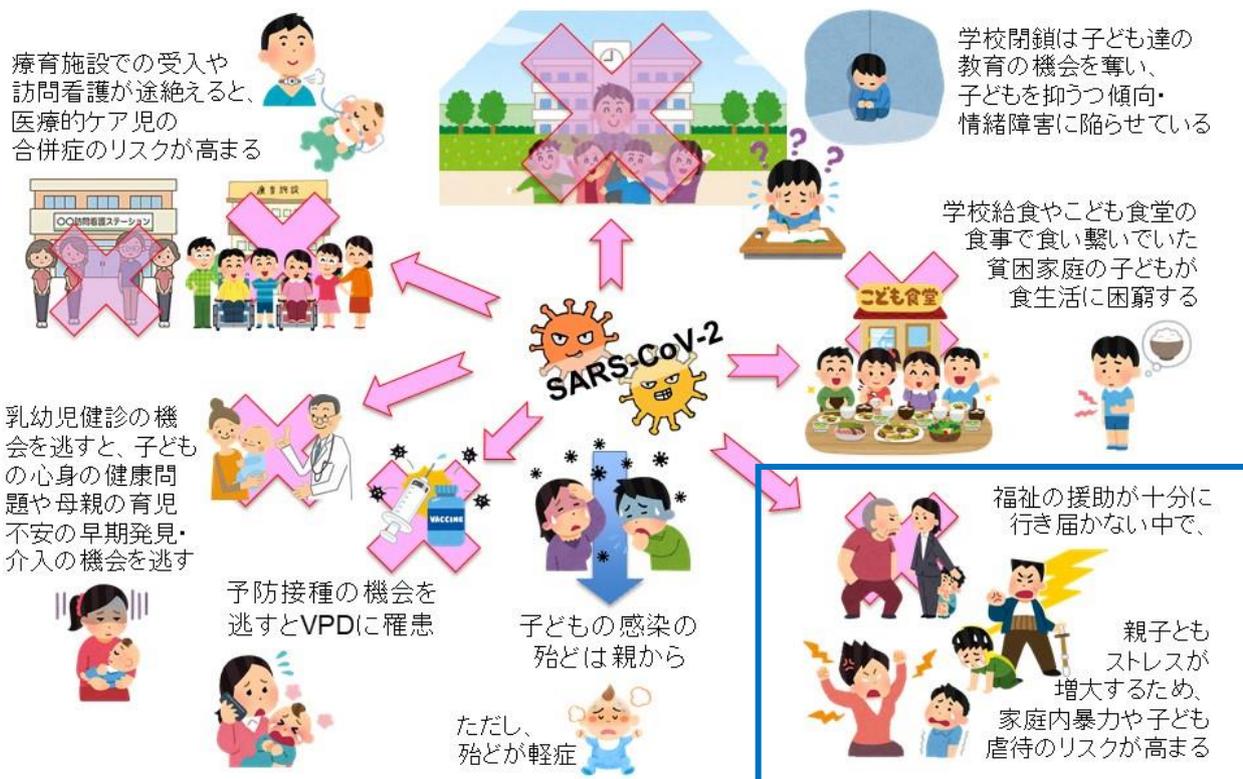
～新型コロナウイルス感染症に関連する健康被害から子どもを守るために～

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、生活様式の変化や社会的な不安の高まりなどにより、子育て家庭での児童虐待や家庭内暴力のリスクの増加が懸念されます。児童虐待は子どもの心身に耐えがたい苦痛を与え、家庭内暴力を見聞きした子どもの脳に残る傷はその後の発育に悪影響を及ぼします。いずれも早期発見、対応が肝要です。

日常診療や乳幼児健診、予防接種等で来院した子どもとご家族について、児童虐待や家庭内暴力の兆候に気づいた場合は、参考6)の子供家庭支援センターか児童相談所虐待対応ダイヤル「189」までご連絡ください。

東京都医師会乳幼児保健委員会では、気づきと対応のための参考資料をまとめました。ご活用ください。

子どもの COVID-19 関連健康被害



日本医師会 COVID-19 有識者会議（2020/05/15）より引用 東京都医師会一部改変

<https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/topic/1235>

児童虐待、家庭内暴力についての評価項目

子どもの様子

- 話しかけた時の反応が悪かったり、なれなれしすぎたりすることはありませんか。
- もし診察ができるのであればですが、身体に不自然な怪我や痣はありませんか。
- 子どもの表情をよく見てください。恐怖感やぎこちなさはありませんか。

保護者の様子

- 夜、眠れているか、食事がとれているかを聞いてください。
- 家族内か家族外に気軽に話ができる相手がいるかどうかを聞いてください。
- 親の心身の状態の変化（ストレス、易刺激性、抑うつ）についてお聞きください。
- 新型コロナ感染症が流行してから、家族関係に変化がないかお聞きください。
- ストレスを抱えているとしたらどのように対応しているかお聞きください。
- 相談できる機関や人を知っているかどうかをお聞きください。

親子関係

- いらいらしたときに子どもに当たってしまうことはありませんか。
- 子どもの行動に対して、ふだんより厳しい態度をとっていませんか。
- 父親、母親どちらかが支配的な様子はありませんか。



厚生労働省 HP 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」について より引用

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dial_189.html

子どもの新型コロナウイルス感染症関連健康被害への対応 参考コンテンツ

- 1) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言等を踏まえた支援対象児童等への対応について 厚労省 事務連絡(令和2年4月10日)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000621214.pdf>
- 2) 「児童虐待防止対策」 厚労省
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/index.html
- 3) 「子ども虐待対応 医療機関の役割を中心に～気付いて寄り添ってつなげよう～」 日本小児科学会
http://www.jpeds.or.jp/modules/general/index.php?content_id=1%20#gyakutai
- 4) 「お子様と暮らしている皆様へ」 日本小児科学会/日本子ども虐待防止学会/ 他
http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=333
- 5) 「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」 国立成育医療研究センター
<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>
- 6) 子ども家庭支援センター(総合窓口) 東京都福祉保健局
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/kosodate/ouen_navi/center.html